

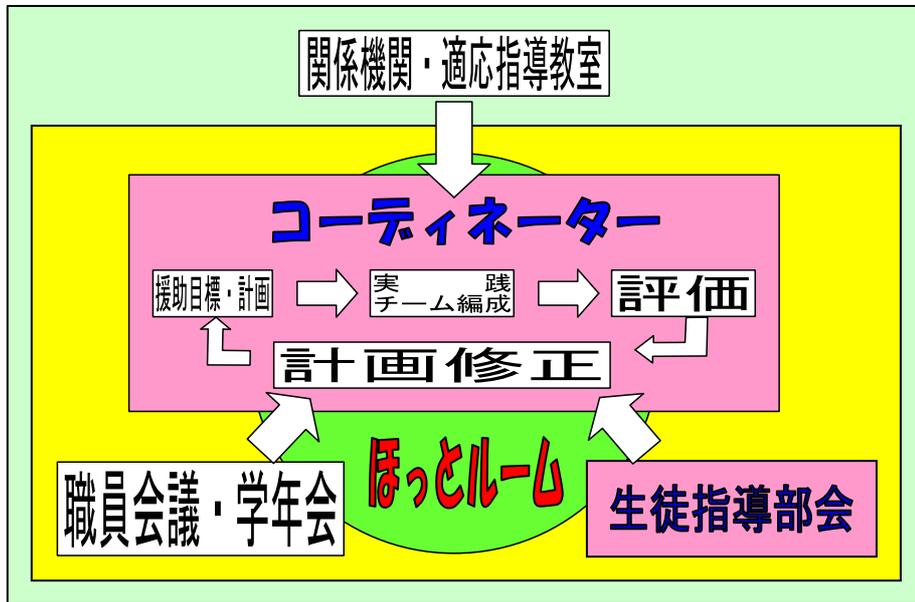
不登校生徒への対応・支援体制づくり

ほっとルームを核とした組織的なチーム援助を通し学級復帰を目指す

特別研修員 小幡 今朝雄

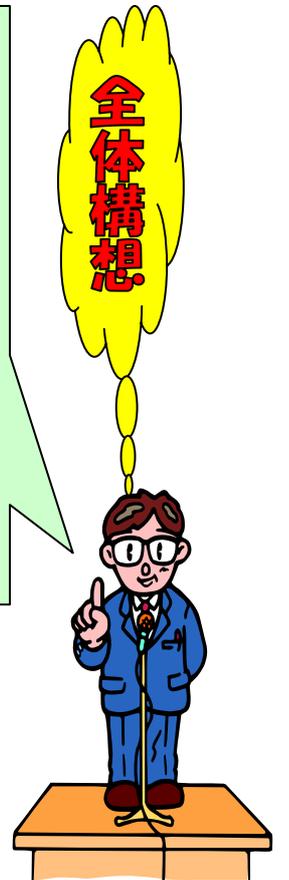
【研究の概要】

不登校傾向の生徒が増えている今日、担任に任せるのではなく、先生方の持っている資源を有効に活用させ学級復帰を目指すものである。そのためには、担任や学年が中心となって指導するだけではなく、生徒指導部会を中心に「ほっとルーム」から見えてきたことに対してチーム（学年を超えた・かかわりのある人）を作り、コーディネーターを中心として組織的に援助を行うことが効果的であるということ、実践を通して学んだ研究である。



学校復帰：学級復帰

社会的自立





不登校生徒・支援体制の3つのポイント

支援体制づくりのポイント

生徒指導部会の定例化

校時表に組み込み毎週実施。
職員会議・校内研修にも取り
入れ常に最新な情報を！！

チーム援助のポイント

チーム支援シートの活用 プロジェクトチーム

難しく考えない。話し合
いの中で該当する項目
に記入。方針を立てる。

生徒指導部会でチ
ームを編成。実態に
応じ学年を超えた
チームが大切

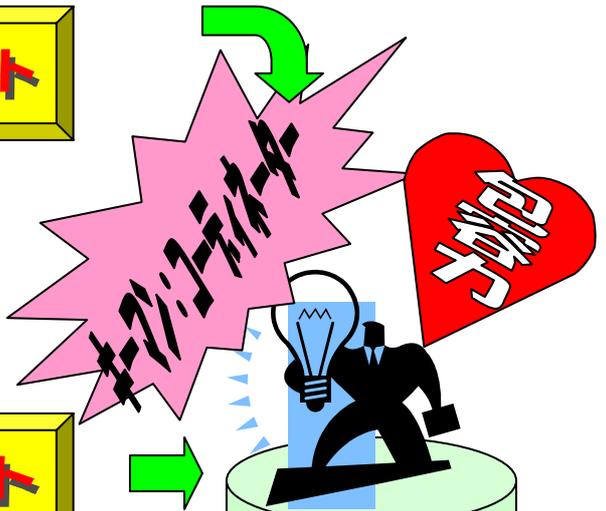
ほっとルームの活用のポイント

担当者を決定 環境整備

担当者を決めておかな
いと生徒の様子が見え
ない。年度当初に決め
ることが大切。



教員も生徒もほっとルーム



最大のポイント

コーディネーター的な役割をする
人が各学年にいることがベスト。

生徒のために連絡・調整役となる

